



雨は止んで、西の方から日の光が差し始めていたので、コモウセンゴケの様子を見てから百年の森の地域を歩き、サクラ並木まで行きました。時々小雨に見舞われましたが風も弱く、じっくり観察することができたと思います。おかげでいくつか発見がありました。



ナミコオロギバチ

体長15 mm くらいの黒い蜂が、獲物をかかえて早足で歩いていました。何をかかえているか最初は分からなかったのですが、蜂を容器に入れようとしたら獲物を放したので、獲物がコオロギと確かめられました。蜂をコオロギの側に放すとすぐ

に抱えて行ってしまいました。残念ながら巣穴に入るのは確かめられませんでした。成虫で冬を越し、暖かい日には活動するようです。



トウカイコモウセンゴケ 中心から1時の方向に花茎が伸びています。苔のようにも見えますが、食虫植物です。6月頃左下のような赤い花



を咲かせます。



小型ハナバチの一種

体長10ミリくらいで、花粉を足にたくさんつけて、今正に巣に入ろうとしているハナバチを見つけました。小型のハナバチは草の少ない裸地に巣穴を掘って花粉を集めて卵を産みます。生きものには草地も大切ですが、何もない砂地も大切です。



エグリトラカミキリ

12 mm ほどの、花粉を食べるハナカミキリの一種です。幼虫は枯れ木を食べます。



カナビキソウ

芝地のような場所に生え、根がイネ科植物などの根に寄生します。5弁花だと思っていたら、4つのも3つのもありました。種はアミメアリなどによって散布されます。



ノミノツヅリ

カナビキソウの生息場所の横の側溝の隙間に沿って生える、乾燥に強い草です。



ベニヘリテントウ

体長5 mm くらいでオオワラジカイガラムシ(下欄)を食べます。ナミテントウなどには光沢がありますがこのテントウには細かい毛が生えています。・・・



サルマメ ユリ科のサルトリイバラを小さくした様な植物です。サルトリイバラと共にルリタテハの食草です。



ツバメ

また、今年もやってきました。尾がずっと伸びています。毎年水門付近を飛び回るのを目にします。巣はどこにかけているのでしょうか？

・・・上のベニヘリテントウ



ウはオオワラジカイガラムシ(左は雌)の近く

にいました。コナラの枝や葉にも幼虫がたくさんいました。右は15 mm くらいの有翅雄です。



植物 タンポポ2種、ハルジオン、ヒメブタナ、ニガナ、スイバ、オランダミミナグサ、ノミノツヅリ、カナビキソウ、ヒメハギ、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、スイバ、アリアケスマレ、ツボスマレ、スズメノヤリ、アゼスゲ、シャガ、トウカイコモウセンゴケ花茎立つ、ミツバアケビ、サルマメ、ハナミズキ、ヤマブキ、イロハモミジ、オオシマザクラ、ミヤマガマズミ、コバノミツバツツジ、ヤマモモ、オニグルミ、アラカシ、ウバメガシ、スダジイ、サワフタギ花蕾、マルバアオダモ、イスノキ花蕾、フジ花蕾、ニセアカシア花蕾、ネムノキ冬芽膨らむ、ジャヤナギ実、**昆虫** モンシロチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、キタテハ、クロアゲハ、スモモキリガ幼虫、キドクガ幼虫、ニトベミノガ幼虫、オビカレハ幼虫、不明キリガ幼虫、コオロギ類幼虫、ホソヘリカメムシ、マルカメムシ、アワフキ虫巢、ベニキジラミ、オオワラジカイガラムシ幼虫と雄成虫、ベニヘリテントウ、エグリトラカミキリ、モモブトカミキリモドキ、ハナバチの一種、ナミコオロギバチ、アカスジチュウレンジバチ、キムネクマバチ、アリ地獄、**鳥・その他** コジュケイ声、ツバメ、メジロ囀り、ハシボソガラス、ツグミ、オオバン、カワウ、コゲラ声、カワラヒワ声、アオサギ、(菌)黄色い茸:ソメイヨシノの枯れ枝、**次回5月12日(木)午前9時30分水資源機構P前・雨天中止 参加費100円**